

第1学年 総合的な学習の時間「きららタイム」学習指導案

日 時 平成24年11月16日(金) 5校時
学 級 1年A組(男子9名 女子15名 計24名)
指導者 教諭 佐藤眞由美

1 単元名 「胆沢の産業を考えよう」

2 単元観

本校では総合的な学習の時間において、各学年が「胆沢に生きる」というテーマの下に、胆沢の産業(1学年)、奥州の職場(2学年)、胆沢の職場(3学年)という主題で学習している。1学年では、地域の産業について調査し、体験活動を通じてよりよく課題を解決する力を育てることを目標とする。

生徒たちは、「胆沢の産業は何か」という問いかけには、「農業」と即答するが、実のところ言葉の意味も明確ではなく、「農業」以外にどんな産業が存在するのかも十分に理解できていないのが現状であった。そこで、興味・関心をもって胆沢について知ることから、学習に取り組み、その上で、胆沢の産業について自分なりの課題意識をもち、体験活動を通して情報収集を行い、得た情報を整理・分析し、発表するという流れで課題解決に向かわせたい。その過程で、自分たちの住む胆沢の産業について新たな課題意識をもち、ふるさとを見つめる機会にしたいと考える。

3 生徒観

小学校の時の総合的な学習の時間で、環境(水質調査、地球温暖化調べ学習)や福祉(点字、キャップハンディ体験)、地域(水沢の三偉人、民泊)などに取り組んでいるため、課題設定、調査・体験、発表という課題を追究する学習の基本的な流れは理解し、それに則って活動することができる。

自分の考えや思いを言葉にすることに抵抗を感じる生徒は比較的少なく、グループでの話し合い活動は、概ねスムーズに行うことができる。発表の際もクラスの前で堂々と話すことができる生徒が多く、その姿勢を大切にしながらテーマについて深く考察させ、課題解決学習に取り組ませたい。

4 指導観

自分が住んでいる地域のよさや特徴は、なかなか見えにくいものである。自分の親がどこで働き、どんな仕事をしているのか、また、農家の生徒であっても、自分の家でどんな作物をどれくらい作って出荷しているのかということに、中学生は無関心であることが多い。今回の学習を通じて、初めは身近なことに興味・関心をもつことや、そこから、学習課題を見つけ調査や体験することを通じて、ふるさと胆沢の産業の実態を知り、課題や展望について調査することで自分なりの考えをもつことは、次世代の担い手として有意義だと考える。

課題解決学習の流れの中で、自分の設定した課題に迫るために、収集した情報をどう「料理」すれば有効に活用できるかを考えさせたい。収集した情報を知識や経験と合わせて自分の考えをもったり、比較・分類・関連付けして考えることで、原因と結果などの関係を意識するなど、まとめにつながるように整理・分析を行わせたい。

そして、「胆沢の産業を考える」ことから、来年度以降の「職場見学・職場体験」を通じて、「働くということ」「進路」について視野を広げ、自らの生き方につなげさせたい。

また、他の生徒と協力して、あるいは自分一人で一連の活動を行うことを通じて、課題を解決するための調査方法や論理的な思考を身につけることは、将来の生きる力となると考える。

5 単元の指導計画（別添）

6 単元の指導目標

- ・ 地域の産業について、調査・学習し体験活動を通じて課題を解決する力を育てる。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 集めた情報を自分のテーマにつなげるために、整理・分析することができる。

(2) 本時の評価規準

育てたい資質や能力・態度	評価場面と方法	生徒の学習の姿
I 【問題解決の力】 ④ 集めた情報を整理・分析することができる。	■ グループでの話し合い で他者の考えに触れ、新たな視点から自分の考えをまとめ直す場面 (ワークシート)	・ グループでの話し合い で他者の考えをしっかりと聞き、視点と付き合わせてワークシートに記入している。

(3) 言語活動について

□ 知識や経験に基づいた自分の考えを比較・分類・関連づけすることで、自分の考えを更に深める。

■ 考えを伝え合い、他者の考えと自分の考えを比較することにより、新たな視点を学んだり、自分の考えを深めたりする。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点(評価■)
導入 5分	1 前時の振り返り	・ 前時に提示した「整理・分析」方法の具体例を確認する。	・ 「整理・分析」方法の紙板書を掲示する。
	2 学習課題の確認	・ 学習課題を示し、本時の学習内容の見通しをもつ。	・ 学習課題から、本時の見通しをもっているか確認する。
展開 40分	集めた情報が個人テーマにつながるように整理しよう。		
	3 収集した情報の整理・分析	・ 視点に沿って情報を整理する。	・ 迷っている生徒には、視点の持ち方を助言する。
	4 個人での考察		
	5 グループでの話し合い	・ 考えを伝え合い、自分の考えと比較する。	・ 視点に沿って交流するよう促す。
6 個人でのまとめ	・ 他の生徒の発言をふまえて、自分の考えをまとめる。 ・ 自分がまとめたことを発表する。	・ 自分が追究したいことを焦点化するように意識させる。 ■ 集めた情報を整理・分析することができたか。 (I-④)	
終末 5分	6 本時のまとめ	・ 本時のまとめと次時の学習内容について確認する。	・ 深まりが見られたところを確認する。 ・ 次時の活動への見通しをもたせる。

